

ペットといっしょに 避難するために

災害は突然起こります。
災害が起きたとき、ペットといっしょに避難できるよう
日ごろから準備をしておきましょう。



1 前もって 確認しておき たいこと

いざというときペットを守れるのは飼い主だけです。
まずは飼い主が無事であること。避難する場合は、原則ペット
といっしょに避難（同行避難）しましょう。

- 住まいの安全（家具の固定、転倒防止、落下防止）
- ペットの飼養場所の安全
（ブロック塀やガラス窓の近くを避ける、ケージの固定）
- ペットの受入れが可能な避難場所及び避難経路
- 家族や知人との連携（連絡方法、緊急時の預け先確保）

2 ペットの 所有者明示

災害時には、ペットと離れ離れになるかもしれません。ペッ
トが保護されたとき、すぐに飼い主が分かるように身元を示す
ものをつけましょう。

- 首輪
- 迷子札（連絡先を記載）
- マイクロチップ
- 鑑札、狂犬病予防注射済票（犬の場合）



3 ペット用の避難用品



ペットの命や健康に関わるものから優先順位をつけて準備しましょう。

優先順位 1 命や健康に関わるもの

- 療法食、薬
- ペットフード、水
(少なくとも5日分 [できれば7日以上])
- キャリーバッグやケージ
- 予備の首輪、リード (伸びないもの)
- トイレ用品 (ペットシート、排泄物の処理用具など)
- 食器

優先順位 2 飼い主や動物の情報

- ペットの写真
- 健康の記録



優先順位 3 ペット用品

- その他 タオル、ブラシ、おもちゃなど必要なもの

4 ペットのしつけと健康管理



ペットとの同行避難をスムーズに行い、避難場所で受け入れてもらうためには、基本的なしつけと健康管理が必要です。

日頃から、しつけや健康管理をしておくことで、避難場所でのペットのストレスを軽減し、他人への迷惑を防ぐことができます。

- 「待て」「伏せ」などができる (犬の場合)
- 無駄吠えをしない (犬の場合)
- 人や他の動物を怖がらない
- ケージなどに嫌がらずに入る
- 決められた場所で排泄ができる
- 不妊去勢手術
- 各種混合ワクチン接種
(犬は狂犬病予防注射も接種する)
- ノミ、ダニなどの寄生虫の予防、駆除

愛知県被災動物対策連絡協議会

(公益社団法人愛知県獣医師会・愛知県動物保護管理協会・愛知県・豊橋市・岡崎市・豊田市)

住所 〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
(愛知県保健医療局生活衛生部生活衛生課内)

TEL 052-954-6298

編集・発行 平成31年4月